



Subaru

男声合唱団

ニュース№482

'14. 11. 6

みやぎ祭典連帯コンサート大成功！

11月2日

□11月2日（日）、クレオ大阪東で、「被災地の復興を願って…日本のうたごえみやぎ連帯コンサート」（大阪のうたごえ協議会主催）が開かれ、380余席のホール満席の参加のもと、豊富なプログラムに沿って、熱気あるステージが繰り広げられました。

□昴は第一部の後半、《職場・男性合同》で、「スクラムひろげて」と「こころひとつに」を、つづいて《医療・介護、シルバー、サークル合同》で、「いのち」と「私の好きなこの街」を歌いました。いずれも、午前中から、練習室リハーサル、ステージリハーサルを積んだ上で臨んだステージで、大勢の仲間と熱のある演奏を披露し、みやぎ祭典へのエールを送りました。昴の参加者は客席からの応援も含めて全20名でした。



□福島の放射能被害から、当時0歳と3歳の子供をかかえて、関西に避難されているお母さんの森松明希子さんのお話しがあり、直面した者しかわからない放射能への不安と国や東電の無策への怒りを切々と訴えられ、いま鬪われている「原発賠償関西訴訟」（原告団452名）への応援もふくめて、激励の拍手が鳴りやみませんでした。

□地震と津波、福島原発の被害から立ち上がって今度の開催にこぎつけた「みやぎ祭典」の経過と、「大音楽会」のチケットが早くから完売している心強い状況の報告が、うたごえ新聞編集長の三輪純永さんから



らあり、また、「堺すずめ踊り連盟」のみなさんの、元気いっぱいの「すずめ踊り」も披露され、会場は盛り上がりました。

□開会の挨拶は、大阪のうたごえ協議会議長の立川さん、閉会の挨拶は、今回の連帯コンサート

の責任者で、同副議長の岡邑さんからありました。ご両名はじめ、協議会の関係の皆さまご苦労様でした、ありがとうございました。



自然の中へ飛び出しました！

10月26日

三谷 卓 (T 2)

10月26日(日)快晴のもと、団員9名、家族2名、計11名で「布引きの滝～トウェンティクロス～神戸市立植物園」のコース(訳10km)を無事歩き通しました。

布引の滝は雌と雄の滝があり、それを背景にまずパチリ。トウェンティクロスでは、川中の飛び石を渡り、植物園入口手前の空き地に陣取り、輪になって昼食。各持参の弁当に、吉田さん(T1)の豚汁と、三谷のお湯割り焼酎で楽しく腹ごしらえをし、ほんわか気分で植物園へ。園内は良く手入れされていて、池には、あやめ(?)に似た花が美しく咲いていました。その後、バスで三宮へ。三宮では、居酒屋「甘太郎」で、全員参加の打ち上げ会。飲むほどに、今後のプランが色々と出され、年齢にめげることなく、自然の中へ飛び出してゆこうということになりました。

